

自動車整備科、一級自動車工学科、 自動車整備・カーボディマスター科、 自動車整備・マスターメカニック科、 自動車整備・トータルマスター科			2026年度 授業計画		
時 期	2年前期	単 元	学 科	教科名	電装品整備2F
科 目	自動車整備関連	教科書等 持参品	2級自動車整備士（総合）		発行日
総時限	31				教科
総時間	49.6				担当
			2026年3月18日		
			難波 喜彦		
			伊丹 秀明		

1. 指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車整備士として電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の構造・作動について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

1. バッテリーの機能を理解する。
2. 始動装置を理解させる。
3. 点火装置を理解させる。
4. エアコンディショナの構造、作動、整備を理解する
5. 警報装置を理解させる
6. 充電装置を理解する。
7. 予熱装置を理解する。
8. 外部診断機を理解する。
9. 電気装置の配線を理解する。
10. 安全装置、付属装置を理解する。
11. O B Dを理解する。
12. 計器を理解する。

3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）

1. バッテリーの機能を理解する。
2. 冷房装置（冷凍サイクル）を理解する。
3. 暖房装置の種類作動を理解する。
4. オートエアコンの制御を理解する。
5. 始動装置の作動、点検要領を理解する。
6. 点火装置の作動、構造を理解する。
7. 警報装置の作動を理解する。
8. 充電装置の作動・点検要領が説明できる。
9. 予熱装置の種類、構造が説明できる。
10. 外部診断機の機能、作用、活用が理解できる。
11. C A N通信について説明ができる。
12. エアバック、シートベルトの種類、機能、作動が説明できる。
13. O B Dを使用したダイアグノーシスコードの読み取りが理解できる。
14. 計器類の作動が理解できる。
15. 国家試験各分野の問題が解ける

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。
○×、選択肢、記述により100点満点で評価する
・合格点：60点以上
80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満）
・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上）
再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

5. 準備学習
3級自動車整備士（総合）を使用し、電装品構造で学んだ内容の復習を行っておく

6. 学修時間と単位
本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間である。

自動車整備科、一級自動車工学科、
自動車整備・カーボディマスター科、
自動車整備・マスターメカニック科、
自動車整備・トータルマスター科

2026年度 授業計画

[illegible]